

悪質な手口で1000人以上のリストラ

社長、役員は社員に責任転嫁するな!!

全日本金属情報機器
労働組合(JMU)
日本アイビーエム支部
東京都港区赤坂2丁目200 6
川瀬ビル5F 〒107-0052
TEL.: 03-3583-9037
FAX.: 03-5562-0853



号外

2008年
11月25日

11月7日、大歳社長は2008リソースアクションプログラムを発表しました。それを受けて人事担当が発信したメモは、「業績の高いもの以外は去れ」というような露骨なリストラ強行

宣言でした。すでに人事が対象者をリストアップし、各部門にリストラ実施ガイドともにおろしています。管理職が休日などに、リストラ通告訓練のため招集され、10月中旬からノルマを持つておこなわれています。すでに多くの人が退職に追い込まれていますが、その中で、組合への相談も組合ウェブサイトを通じて相次ぎ、加入も増えています。

これは社長、役員の問題

IBMが98年に打ち出したハイパフォーマンスカルチャーが、社員に理解されずに浸透しなかったことから業績がふるわなかつたとして、その要因を「評価の低い人」に責任転嫁し、ボーナス大幅カット等で格差をつけておきながら、さらにIBMから強制的に追い出すことを始めました。これは、どうみても経営責任の問題であり、社長、役員が退職するなり責任を取るべきです。

トップダウンの米国専制支配、短期、利益至上主義

IBMは、今や1年先のことは関心がなく、目先の利益、株主優先で、業績向上の見込みのない成熟国である日本には、人件費を減らすことで、利益を生み出す方針に転換し、それを具現化するため常に下位の「低評価者」を追い出す仕組みを作ってきています。これが、ハイパフォーマンスカルチャーの実態です。

リストラの手口

会社の業績が悪い、このままではあなたは最低評価で降格もある。今なら退職支援金が出るから考える。再就職斡旋会社があるから先のことは心配ない。といって断つても繰り返して面談を強要します。メンタルの病気にかけたり、体調を崩す人も続発しています。病気や産休の休職者にも退職をせまっています。管理職も会社の指示した手口を忠実に実行しています。

退職に合意しないと、最低評価を予告し、降格もちらつかせる。最低評価になると、昇給ゼロだけでなく、ボーナスが普通評価者の半分以下に激減してしまいます。

法違反するな、CSR企業
の社会的責任(雇用)を果たせ

この悪質な退職強要、面談強要はあきらかに、民法709条の不法行為に該当します。

組合に相談、加入相次ぐ

このような、逃げ場をつくらせない、執拗な退職強要の中で、組合への相談が相次いでいます。

住宅購入したばかりで辞められない。年老いた母と障害者の兄弟の面倒をみなければならずやめられない。メンタルな病気が再発した。病気休職中に勸奨を受けて絶望している。請われて今年中途入社したが、半年で退職強要を受けた。

会社は、健康、家庭の事情はいつさい配慮せず、あくまでも会社への貢献度が高い人(会社の判断による)だけ大事にすると言言。

これからの闘い

内部の組織だけでなく、JMIU、全労連、世論に向けて、IBMで起こっている恐怖政治ともいえる非情な従業員支配の米国的経営の実態を訴える。この会社のやり方を成功させれば、日本の企業にも拡がりかねない危険性を持つており、ぜひ多くのおみなさんの協力、支援をお願いします。こんなことを自由にさせたら社会はメチャメチャで、会社の将来もありません。